

情報セキュリティ 教育事業者連絡会 概要

2007年10月1日

発起人一同

与儀大輔	株式会社ラック (ISC)2 Japan セールスマネージャー
長谷川長一	日本ユニシス株式会社 JASA 資格認定委員・研修トレーニング小委員長
関取嘉浩	NRI セキュアテクノロジーズ株式会社 SANS JAPAN 事務局
安田直義	JNSA 教育部会長
小林佑光	SEA/J 事務局長

1	設立の背景と現状の考察	3
2	連絡会概要.....	4
3	当面の体制とスケジュール.....	6
4	参加組織	8
5	おわりに	8

1 設立の背景と現状の考察

日々進化を続け利用人口も増加を続ける ICT 社会の中で、我々の生活においても ICT は重要なインフラとしての役目を担っていると云えます。

情報セキュリティ分野においてはポリシー作成やシステムの導入、運用管理などの業務のみならず内部統制や CSR、コンプライアンスなど組織としての対応を迫られている多くの課題があります。

しかしながら山積した諸問題を解決するには知識と経験が必要であるにも関わらず、その経験値を持った人材は非常に少なく更には経験値を図る基準も不明確であるという現状があります。

情報セキュリティ人材の不足は国も認識しており、政府の情報セキュリティ政策会議において「第1次情報セキュリティ基本計画」、「セキュアジャパン 2007」、「人材育成・資格制度体系化専門委員会報告書」などにおいて人材育成の重要性と基本方針が示されています。

しかしながら情報セキュリティ人材の必要性は理解が徐々に進みつつありますが、自組織に合わせた人材育成をどのように行えば良いかという方法に関しては情報が不足していると言えるのではないのでしょうか。

また、情報セキュリティ教育の現場に目を移して考えてみますと、様々なセミナーや資格が立ち上がって来ています。しかしながら人材育成をしたい企業や組織サイドから見ると一体何を指標に情報セキュリティ人材を育成して良いのかが分からないという現実があります。教育や資格を提供している我々も提供資格の位置付けやキャリアパス形成においても共通した認識や協力体制が確立出来ていないのが現状ではないのでしょうか。

そこで本年2月末に産学官連携の初の試みである「情報セキュリティ人材育成セミナー in Tokyo」を開催致しました。200名を超える参加者より「国や高等教育機関の考えと情報セキュリティ教育や資格に関して1日で学べる大変有意義なセミナーだった」と多数の声が寄せられました。

本セミナーを通して得た事は各団体が個別活動を行うことも大切ですが、情報セキュリティ人材育成に関わる我々が連携して情報提供等を行う事が求められているということです。

「参考情報」

「情報セキュリティ人材育成セミナー in Tokyo URL」

<http://www.jasa.jp/seminar/edu-seminar070227.html>

「第1次情報セキュリティ基本計画」

http://www.nisc.go.jp/active/kihon/ts/bpc01_a.html

「セキュアジャパン 2007」

http://www.nisc.go.jp/active/kihon/pdf/sjf_2007.pdf

「人材育成・資格制度体系化専門委員会報告書」

http://www.nisc.go.jp/conference/seisaku/training/common/pdf/training_report_final.pdf

2 連絡会概要

- 名称

和文 情報セキュリティ教育事業者連絡会

英文 Information Security Education Providers Association

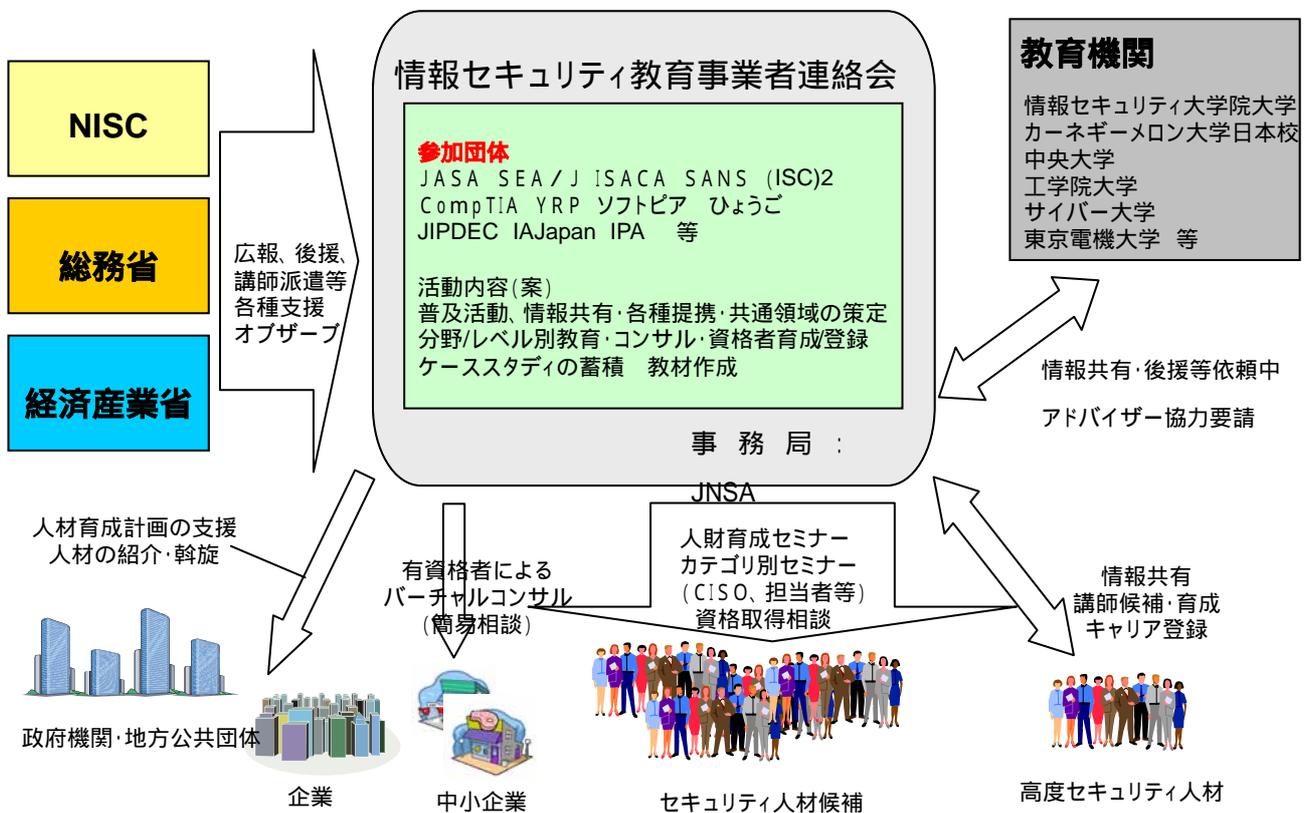
略称：ISEPA

URL：http://www.jnsa.org/isepa/index.html

- 目的

- 情報セキュリティ人材育成を通して、より豊かな情報社会に貢献することを目的とする
- 情報セキュリティ教育事業者が協業することにより、情報セキュリティ人材育成に関わる情報を広く社会に発信するとともに、人材育成の拡大に向けた様々な取組みを推進する
- 教育機関とも連携し有益なコンテンツの共同利用などを検討する

イメージは以下をご参照下さい



- 構成

連絡会は下記のメンバーより構成されます。

連絡会会員：

基本的に独自の教育コンテンツを有し事業を行っている組織を対象とします。

連絡会運営に際し必要な実務を行う担当者をアサイン出来る事とします。

アドバイザー：

原則として大学等の教育従事者（教授等）であり本連絡会の趣旨にご賛同頂き、適宜アドバイスを頂ける方とします。

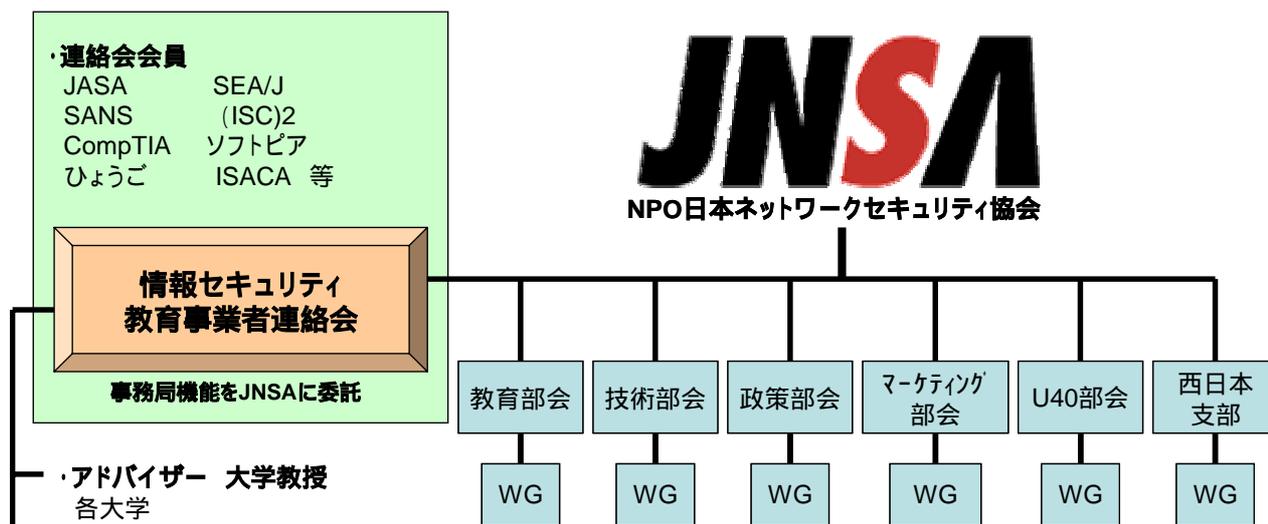
オブザーバー：

原則として公的機関関係者・任意団体関係者であり本連絡会の趣旨にご賛同頂き、適宜アドバイスを頂ける方とします。

- 連絡会の設置場所

連絡会は当初日本ネットワークセキュリティ協会（JNSA）内の組織として発足します。

情報セキュリティ教育事業者連絡会関連図



JNSA入会企業2007年10月2日現在 212社

<http://www.jnsa.org/index.html>

2007年10月現在

- 参加方法

JNSA に入会することとします。

入会方法については、JNSA 会員規則に準じます。

- 年会費などの費用

JNSA の規則に準じますが、要約は下記の通りです。

* 年会費 24 万円、年度途中入会は年会費の残月数の月割り金額（月額 2 万円換算）

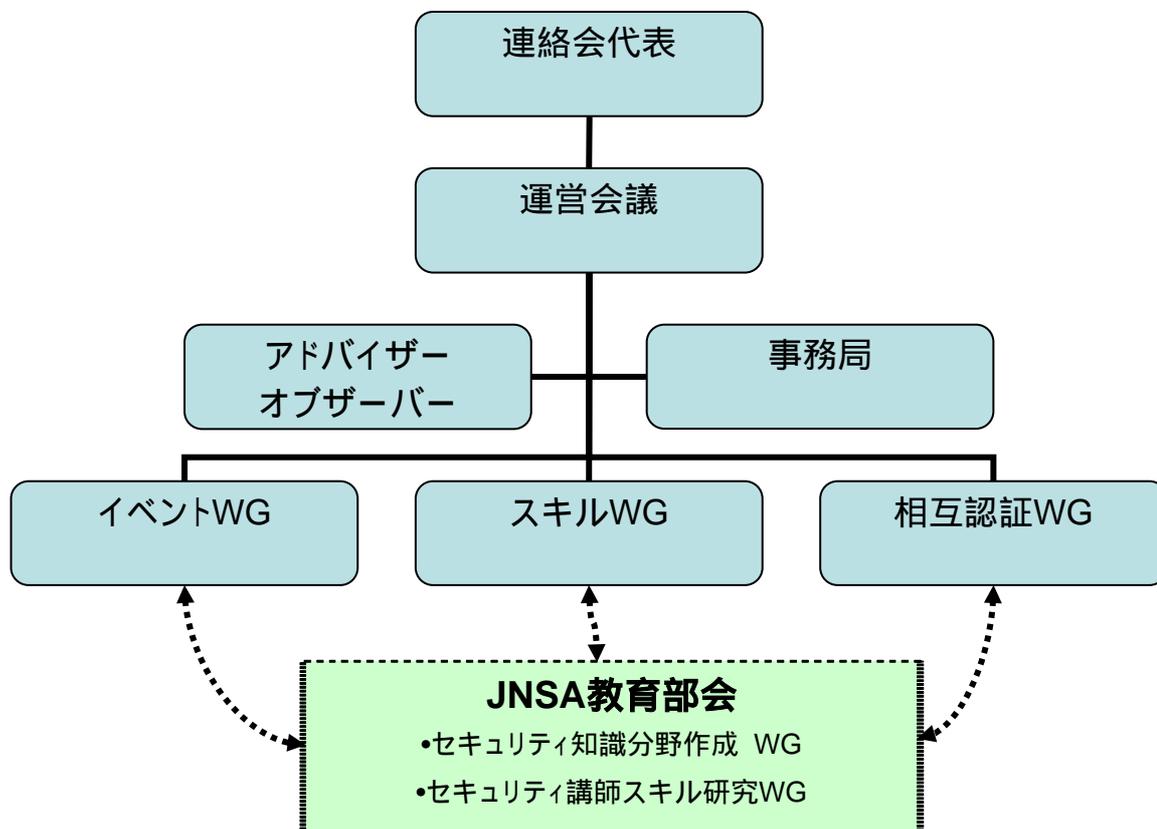
* 参加組織の事情等により会費負担については考慮されます

なお、イベントなど特別な費用が発生する場合は参加団体で応分の負担が発生する場合があります。

3 当面の体制とスケジュール

- 組織の形態

- 体制は下記の通り



連絡会代表：

対外的に連絡会の代表として機能し、かつ、運営会議の議長を担います。

株式会社ラック/(ISC)2 Japan 与儀大輔

運営会議：

連絡会運営に関わる諸問題についての意思決定の場とし、月次の定例会を行います。

構成は連絡会会員が運営委員として会議に参加するものとします。

連絡会に関わる重要事案は全て運営会議にて方向を検討し決定するものと致します。

事務局：

JNSA 事務局が担当します。

ワーキンググループ (WG):

連絡会で必要とされる検討や成果物作成等については会員、アドバイザー、オブザーバーにより WG を発足しテーマに基づき随時活動を行うものとします。

当初は以下 3 つの WG から活動をスタートし、必要に応じて WG は増設します。

イベント WG :

◇ 共同普及啓発事業 (セミナー、イベント、Web、出版等)

- イベントは年間開催 3 回 ~ 4 回を予定 (第 1 回は 2007 年 11 月 14 日を予定)
- 各組織の資格保有者数の把握及び Web 等への掲載による公開も検討

スキル WG :

◇ 人材象の検討

- 利用者から見て出来る限りダブらず、わかり易い全体体系の整理
- キャリアパスの提示 (それぞれの教育プログラムの位置関係の提示)
- 共通知識基盤の設計と共有 (広がり と 深さの統一)

相互認証 WG :

◇ 相互認証

- 資格継続プログラムの相互乗り入れ
- 資格取得時のショートカット受講
- 講師育成及び共有の検討
- 大学等教育機関との連携及びアドバイザー要請

◇ 教育プログラムの品質の維持

- 品質の定義とその判定方法の検討
- 判定の実施
- 時代の変化に対応した要求されるコンテンツの検討

● 主なスケジュール

10 月 1 日正式発足

11 月 14 日 設立記念イベント「2007 情報セキュリティ人材育成シンポジウム 秋」開催予定

<http://www.jnsa.org/seminar/2007/071114/>

4 参加組織

会員	オブザーバー
(ISC)2 Japan	内閣官房情報セキュリティセンター
ISACA 東京支部	総務省 情報通信政策局
NPO 日本セキュリティ監査協会 (JASA)	経済産業省 商務情報政策局
NRI セキュアテクノロジーズ株式会社 (SANS JAPAN 事務局)	独立行政法人 情報処理推進機構 (IPA)
NPO 日本ネットワークセキュリティ協会 (JNSA)	(財)日本情報処理開発協会 (JIPDEC)
株式会社ラック	(財)インターネット協会 (IAJapan)
CompTIA Japan	ISSA (Information Systems Security Association) 東京支部
(財)ひょうご情報教育機構 (カーネギーメロン大学日本校)	
(財)ソフトピアジャパン	
SEA/J (セキュリティ・エデュケーション・アライアンス・ジャパン)	

アドバイザー

5 おわりに

本連絡会の設立に関しては、内閣官房情報セキュリティセンター・経済産業省・総務省へ説明に出向き、ご理解を頂くと共にご協力頂ける事になりました。

内閣官房情報セキュリティセンター発行の「人材育成・資格制度体系化専門委員会報告書」のサブタイトルには「人は城、人は石垣、人は堀」と、いかに人材が重要であるか明記されており、情報セキュリティ人材育成は企業や組織の活動において必要不可欠な重要課題であり国策としても大変重要な位置付けにあることはご理解頂いていると思います。

連絡会の設立趣旨をご理解頂きご参加、ご支援を賜りますようお願い致します。

以 上